

## 平成26年度 みなサポ活動報告

### 平成26年度総括

平成26年度は平成25年度同様、南区の区民応援事業の補助金を活用した活動採択（3年度）を受け、資金をかけた活動を進めることができました。中でも、3回目となるシンポジウムでは210名の参加者数となり、今回テーマとした「若年性認知症」への関心の高さを実感し、区内でも取り組んでいくことの必要性を感じました。次に、みなサポ検索ネットでは検索依頼が前年度の3件から8件と依頼件数が倍以上増え、認知症の症状で自宅や利用中に外へ出て帰ることができなくなる方が多くなっています。各事業所さんが検索を依頼することでより多くの目で行方を捜すことができるようにもなってきたことも、私たちが掲げる方針「あんしんして暮らせる南区づくり」が多少なりとも進んだのではないかと思います。

また、強化活動の中で、平成27年度末を目標に掲げる南区内の全小中高校での認知症あんしんサポーター養成講座開催に対して、1校しか増やすことができなかったことは残念であります。小学校や中学校、高校にみなサポ通信やMAPを配布したり、校長会で南区役所福祉部と共に講座開催の依頼を行うなどの活動を続けたので、次年度開催に向け、積極的な活動ができたと思います。

他団体との連携は、一般社団法人下京西部医師会との連携はじめ、今年度は新たに京都市南歯科医師会との連携が強まりました。南歯科医師会が認知症あんしん相談窓口歯科診療所認証を行うことへの協力をし、次年度更新するMAPには認証を受けた歯科診療所（8箇所）の掲載も予定されており、福祉・介護・医師・歯科と連携の輪が広がっています。

みなサポ相談窓口事業所は年々増え（73→83事業所）、区内で認知症を啓発する事業所は確実に増えています。また、研修会や懇親会など事業所間連携においても、私たちの活動を通じて強まっていると事業所さんからも評価をいただくようになりました。

最後に、登録手続きや郵送・配布物の増加、各種情報の発信など事務的な作業に多くの時間を費やすこととなっていますが、4名の副代表を中心に各チームの構成員で何とか役割分担して進めているのが現状です。この活動を継続的に進めていく為の方策を検討することの必要性が高まった年度になりましたことを結びのことばといたします。

### 平成27年度に向けて

年々、認知症に対する社会の注目度は増しており、私たちの活動の必要性も年々高まっております。今後さらなる活動の増加に向け、この活動をできる限りシステム化することで事務効率を高め、補助金に頼りきらない継続運営に向けた資金確保を行い、継続的な活動を行える環境整備が課題だと考えます。

### 平成26年度 事業方針（※平成25年度より継続）

私たちは「南区民があんしんして暮らせる南区づくり」に向け、“認知症”をきっかけにし、区民・事業所・各種団体・行政が一体となって認知症の方やその家族があんしんして自宅で暮らし続けることができるよう活動を行う。また、南区独自の地域包括ケアの確立に向け、大規模災害時及び各種団体との連携を強化する。

## 主な内容

1. 小・中・高校での講座を新たに最低3校増やす（強化）
  - 1) 平成27年度末（平成28年3月31日）までに全校開催→実績新規1校
  - 2) サポーター講座実績 35回開催（市内4位）・938名（市内5位）サポーター養成 ※別紙参照  
サポーター1人当たりの高齢者（65歳以上）の割合 4.21人（市内2位）
  - 3) 南区小学校校長会 10/3・下南地区中学校校長会 9/5にて活動紹介・講座案内
  
2. 窓口事業所と管轄包括圏域の担当者と顔の見える関係づくり（継続）
  - 1) 6月研修会、12月研修会、窓口事業所間懇親会2回
    - ①平成26年6月14日（土）故郷の家 京都 62名参加  
講師 成本 迅氏（京都府立医科大学附属病院精神科・心療内科、認知症疾患医療センター）
    - ②平成26年10月23日（木）故郷の家 京都 81名参加  
講師 大屋 高志 警部補（南警察署 生活安全課）、区内在住の認知症の男性と介護者（妻）
  - 2) 窓口事業所間懇親会
    - ①平成26年6月14日（土）場所 京都花の舞 28名
    - ②平成26年10月23日（木）場所 京都花の舞 31名
    - ③平成27年3月6日（月）場所 京都個室物語 竹取の音色 京都駅前店 40名
  - 3) 新たな窓口事業所追加基準の作成：継続検討、次年度へ
  - 4) 相談窓口マニュアルの見直し：継続検討、次年度へ
  - 5) みなサポそうさくネットの見直し
    - ①見直し VOL3、平成26年6月
    - ②検索実績8件（平成25年度3件）
  - 6) 新規窓口事業所説明：新規事業所開設に合わせてみなサポ相談窓口担当チームが説明
    - ①平成26年度新規登録事業所数 11事業所（平成25年度 16事業所）
    - ②平成26年度末 登録事業所数 83事業所（平成25年度末 72事業所）
  - 7) 認知症サポートリーダー独自名簿更新 平成26年10月
  
3. 相談実績の管理と情報共有（強化）
  - 1) 相談内容の分析、情報提供・共有
    - ①ホームページ内に相談実績報告専用ページ作成 H26.6～FAX併用実施、H27.1～本格実施  
相談実績状況共有開始 平成26年度相談実績 55件
  
4. アドバイザーの育成（充実）
  - 1) 研修（年4回）
    - ①8/8（金）警察署における行方不明者等捜索届・捜索等の現状
    - ②11/7（金）第3回南区認知症シンポジウム参加
  - 2) アドバイザー認証式（東村区長より認証書授与） 9/12（金）
  
5. シンポジウム・総会（継続）
  - 1) 総会（6月）・シンポジウム（11月）
    - ①総会 平成26年6月14日（土）故郷の家 京都 50名参加  
講師 成本 迅氏（京都府立医科大学附属病院精神科・心療内科、認知症疾患医療センター）
    - ②シンポジウム 平成26年11月7日（金）龍谷大学アバンティ響都ホール 210名参加  
講演 沖田 裕子氏（NPO法人認知症の人とみんなのサポートセンター）
  
6. 大規模災害時連携（継続）
  - 1) 南区役所地域力推進室防災担当・窓口事業所・福祉避難所との連携：継続検討、次年度へ

## 7. 各種団体との連携の強化（強化）

- 1) 5の事業を通じて、共催・後援等により連携、シンポジウムでの共催・後援
- 2) 下京西部医師会事業「認知症の理解を高めるつどい」協力 1/31（土） 企画・準備・事務担当
- 3) 山科区内5包括支援センター職員様9名 会議・アドバイザー認証式にオブザーバー参加 9/12（金）
- 4) 龍谷大学短期大学部社会福祉学科国際福祉コース開設記念セミナー シンポジスト参加 7/6（日）
- 5) 京都市南歯科医師会 第1回南歯科医師会地域保健推進事業研修会 講演 協力 11/29（土）
- 6) 京都市南歯科医師会 第2回南歯科医師会地域保健推進事業研修会 ディスカッション 協力 1/25（日）

## 8. 広報（継続）

- 1) 年3回みなサポ通信発行：第5号（9月）4,300部・第6号（12月）3,000部・第7号（3月）各3,000部
- 2) 電子書籍出版 内容：第2回南区認知症シンポジウム ※平成26年5月出版
- 3) 南区認知症あんしんMAP 更新 6,500部発行 H26.6 ※南区役所との連携
- 4) みなサポ着ぐるみ制作 H26.11 ※南区補助金活用
- 5) 南区認知症あんしんMAP 南区役所へ納品 3,000部 H27.3
- 6) 京都新聞 朝刊 地域プラス 掲載 九条塔南小での認知症講座 9/17
- 7) フェイスブック：随時投稿 ページに対する「いいね！」数 312名（H27.3.31現在）

## 9. その他

- 1) 平成26年度「みなみ力で頑張る！区民応援事業」交付決定 760,000円
- 2) 副代表1名 欠員 8/1～12/31 ※1/1～新副代表 決定
- 2) 11/15（土）塔南きずなフェスティバル 協力 みなサポ着ぐるみ使用
- 3) 11/15（土）下京・南健康まつり 協力 みなサポ着ぐるみ使用
- 4) 11/23（日）ビハーラ十条バザーフェスティバル 協力 みなサポ着ぐるみ使用
- 5) 1/11（日）第4回南区安全大会 安全啓発協力 みなサポ着ぐるみ使用
- 6) 1/31（土）「認知症サポーターキャラバン報告会」に缶バッジ・ステッカー展示  
主催 全国キャラバン・メイト連絡協議会

## 外部委員

1. 介護サービス事業所等連絡調整会議 世話人 熊内（南事務所）
2. 南区地域包括センター運営協議会 委員 石井（代表）
3. 南区地域福祉推進会議 委員 石井（代表）